

	マテリアリティ	堺化学グループの主な取り組み	KPI	
			指標	目標
人々を幸せにする 	(1)人材を育成し、成長を実感できる風土を醸成する	挑戦する仕組み・能動的に行動する仕組みの整備	ワーク・エンプロイーエンゲージメント偏差値	50以上(2025年度)
	(2)働きやすい環境をつくる	働く環境(場所、時間)の整備 活力のある職場環境づくり ダイバーシティの推進	長時間労働人数(月60時間超) 休業4日以上死傷者数 労働損失日数 新規採用者に占めるキャリア採用者の割合(経験者採用比率) 中核人材に占める女性雇用率 管理職に占める女性雇用率 年次有給休暇取得率 男性の育児休業取得率	0人/年(2030年度) 0人/年 0日/年 20%以上 20%以上(2030年度) 10%以上(2030年度) 80%以上(2025年度) 50%以上(2025年度)
	(3)地域社会に貢献する	地域社会との対話 地域団体への協賛加盟	協賛加盟団体での社会貢献活動への参画	社会貢献活動の実施
地球環境を守る 	(4)化学物質を適切に管理し、環境負荷の低減と製品安全性の向上を実現する	省エネ推進 再生可能エネルギーへの転換 有用物質の回収・再利用	CO ₂ 排出量Scope1, 2削減率(2013年度比) CO ₂ 排出量Scope3の把握 重大な環境事故発生件数	30%(2030年度) 範囲確定と算定の実施 0件/年
	(5)産業廃棄物の排出量を削減する	3R(Reduce, Reuse, Recycle)推進 ・原燃料・生産プロセスの見直し ・産業廃棄物の再資源化	産業廃棄物排出量削減率(2021年度比)	50%(2030年度)
	(6)生物多様性に配慮する	水の使用量の削減と排水浄化	水使用量削減率(2021年度比)	25%(2030年度)
モノづくりで社会の課題を解決する 	(7)環境や社会の課題解決につながる製品やサービスを創造する	マイクロプラスチック代替製品 アンモニア合成触媒 カーボンリサイクル触媒 具体例(全固体電池材料、5G関連材料、抗菌抗ウイルス材料など) 連続生産による環境負荷低減	「Smart Material 認定製品とサービス」開発件数	2030年度までに5件上市
	(8)責任ある調達を推進する	調達先への周知・協力依頼、取引先への監査など	取引先へのCSR調達調査	CSR調達調査と改善の実施
透明で強固な経営体制を築く 	(9)取締役会の実効性を高める	取締役会実効性評価アンケートの実施(毎年1回) アンケート結果に基づく改善の実践 経営人材育成プランの作成 指名報酬委員会の運営	取締役会実効性評価アンケート結果を踏まえた ①抽出した課題の数 ②各課題について議論した回数および延べ時間数 ③導き出した対策数 ④対策の実行数	実効性アンケート結果からの課題抽出と改善の実施 ※堺化学工業(株)単体
	(10)リスクを把握し対策を講じる	リスク・コンプライアンス教育、周知などの活動の実施 委員会・部会の効率的な運営	重大なコンプライアンス違反件数 全社リスク管理体制の維持	0件/年 有効な状態の維持
	(11)適時・適切に情報を開示する	IR・広報活動の活性化、危機管理広報の充実	統合報告書またはそれに準じた内容の情報作成と提供	2023年度分より、統合報告書またはそれに準じた内容の提供